

ごみもへらそう

ごみ対策課

TEL 013 3-72-3126
FAX 013 3-75-2275

この夏、生ごみをシェイプアップして
カラスからごみステーションを守ろう！

Eメール gomi@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/>

生ごみはカラスのごちそう

カラスに散らかされない、ごみ出しの工夫

生ごみの袋を数羽のカラスが突つき、ごみ袋から生ごみを引き出し…。都市でよく見られる風景の一つになってしまいました。雑食性のカラスにとって、私たちの出す生ごみは、格好のごちそう。カラスによるごみステーションの散乱を防ぐには、生ごみの出し方を工夫し、カラスを引き寄せないようにすることも重要です。

カラスは翼があり、遠くまで移動します。被害を防ぐには、できる限り広い範囲で対策を講じる必要があります。市民の皆さんのご協力をお願いします。



★カラスの被害を防ぐために★

1 生ごみを出さない

食品を計画的に購入する、料理を作り過ぎない、なるべく食べ残さないなど、生ごみが出ないように心掛けることも、立派な対策です。

2 生ごみをたい肥にリサイクル

生ごみは、コンポスト容器や電動生ごみ処理機などを利用して、たい肥にリサイクルできます。自宅で生ごみリサイクルに挑戦してみませんか？

市の助成制度をご利用ください

「生ごみたい肥化容器」、「電動生ごみ処理機」の購入費用の一部を助成します。

●助成要件

- ・市内に住み、住民登録があること
- ・自宅に設置場所があること
- ・できたたい肥の自家処理に努めること
- ・同世帯で重複して申請していないこと

●助成対象

- ①生ごみたい肥化容器(コンポストなど電気を使用しないもの)
- ②電動生ごみ処理機(ディスポーザーを除く)

●助成額

- ①販売価格(税抜)の2分の1以内(上限2,000円)
- ②販売価格(税抜)の2分の1以内(上限20,000円)

●予定数

- ①150個(先着順) 1世帯1個のみ
- ②120台(先着順) 1世帯1台のみ

※随時申請受付中。予定数に達し次第受付終了。
詳細はごみ対策課まで。

3 出す前に水切りを

カラスはごみ袋のぬれているところをまず突つため、生ごみの水切りが有効です。また、水切りによるごみ減量効果のほか、におい防止にもつながり、いいことづくめです。

4 生ごみを隠して出す

カラスは、主に視覚で食べ物を探すとされています。何でも食べる雑食のカラスにとって、生ごみが丸見えのごみ袋は、格好のえじきです。生ごみを出すときは、袋の内側に入れる、紙くずで覆うなど、カラスの目から隠す工夫をしましょう。また、トレイやビニール袋に付着した食べ物をふき取るなどの方法も、食物に敏感なカラスには有効です。

5 ごみ出しは収集日当日の朝に

カラスは、生ごみを食べやすいごみステーションに集中して飛来します。カラスと生ごみの接点を少なくするために、ごみは必ず収集日当日の朝8時30分(花川南7～10条は8時)までに出しましょう。ネットをかけることも忘れずをお願いします。ごみの量に合ったネットを使用することや、鎖などで重りをつけるなど、ごみ袋がネットからはみ出さないようにすることも大切です。



【電池回収ボックス廃止のお知らせ】

北海道銀行花川支店(花川北3-3)の電池回収ボックスは廃止しました。

【集合住宅にお住まいの方へ】

現在、アパート、マンションなどの集合住宅にお住まいの方を対象に、アンケート調査およびごみ分別資料の配布を実施しています。調査員が訪問した際には、調査などへのご協力をお願いします。

